

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

別添資料10

公表: 2020年2月15日

事業所名 放課後等デイサービスASIS

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	37.5%	62.5%	0.0%	個室もあり、落ち着いて過ごせる広さがある	平日と土日では児童人数の差があるため、スペースにゆとりのある平日には集中しやすいプログラム、人数の多い土日では皆で楽しめるプログラム作りという構成を考えてみる。
	2	職員の配置数は適切であるか	87.5%	0.0%	12.5%		送迎や個別対応が増えても、支援が適切に行えるように事前ミーティングで確認するようにする。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている また、清潔で心地よく過ごせる環境になっている	75.0%	25.0%	0.0%		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	50.0%	37.5%	12.5%	毎日ミーティングはしっかりと行っている。	より業務改善につながるような工夫をしていく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	62.5%	25.0%	12.5%		ホームページに公開はしているが、その周知を徹底し、業務改善へとつなげていく。
	6	事業所向け自己評価表および保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所としての自己評価を行うとともに、この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	50.0%	50.0%	0.0%		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	25.0%	62.5%	12.5%	他事業所からの見学受け入れを行っている。	指摘点なども積極的にいただけるようにし、改善へとつなげていく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	62.5%	25.0%	12.5%	外部研修などに参加したり、その内容をミーティングで共有している。	定期的な研修が定着化するように、勤務体制を考え直す。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している また、その計画に沿った支援が行われている	75.0%	12.5%	12.5%		モニタリング前には児童からも直接ヒアリングをし、課題を考えるようにしている。

適切な支援の提供	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	25.0%	37.5%	37.5%	入所時にはアセスメントツールを用いヒアリングをしている。他機関のツールも可能な限りいただくようにしている。	より分かりやすいアセスメントツールを考えていく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	50.0%	37.5%	12.5%	毎日のミーティングでプログラムについても随時意見を出し合っている。	特別なプログラムに関しては、複数担当を決め考えてもらうようにしている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	87.5%	12.5%	0.0%		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	37.5%	37.5%	25.0%		長期休暇になると参加できる児童も増えるため、普段参加できないプログラムも受けられるようにしている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	75.0%	25.0%	0.0%		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	75.0%	25.0%	0.0%	30～1時間ほどミーティングをしている	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	12.5%	62.5%	25.0%	打ち合わせの時間は取っていないが、その日に気になった点については職員間で共有している 児童がギリギリまでいるため、振り返りは記録で残し、共有するようにしている。 時間がない場合は次の日の支援開始前に話している	共有にもれがないよう、議事録の確認は徹底していく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	62.5%	25.0%	12.5%	児童の様子だけでなく、プログラム事の振り返りも記録し、検証している。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100.0%	0.0%	0.0%		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	25.0%	62.5%	12.5%		今後ガイドラインについての認識も深めていく。
	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	37.5%	62.5%	0.0%	担当者会議前には職員ミーティングでその子供について話し合い、情報を共有している	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	50.0%	37.5%	12.5%	モニタリングや面談では可能な範囲で、自宅と学校での様子について情報収集している 必要に応じて、学校の先生とも連絡を取り合っている。	新学期に年間行事予定をいただくようにしていく。

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0.0%	75.0%	25.0%		主治医がいらっしゃる場合は連絡先なども提供していただいている。
	23	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	50.0%	37.5%	12.5%		今年移行する児童が増えるので、情報提供のためのツールを作成し、共有できるようにしていく。
	24	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	25.0%	62.5%	12.5%	発達障害者支援センターの研修に参加している。	
	25	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0.0%	37.5%	62.5%	積極的な交流はないが、外出イベントなどで接点を持つようにしている。	
	26	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0.0%	37.5%	62.5%		この1年はほとんど参加できなかったもので、今後参加できるよう、スケジュールを調整していく。
	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	0.0%	100.0%	0.0%		
	28	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	0.0%	37.5%	62.5%		親の会を企画し、支援していく。
保護者への説明	29	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	62.5%	37.5%	0.0%		
	30	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	62.5%	37.5%	0.0%		
	31	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	62.5%	12.5%	25.0%	年2回保護者を開き、保護者同士で話せる時間も取っている。	日程的に参加できなかったというご意見もいただいたので、回数を増やすことを検討していく。
	32	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	87.5%	12.5%	0.0%	システムを使い、日々コメントを頂けるようにしている。何かあった時は電話だけでなく、LINEなどでも対応している。	

責任等	33	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100.0%	0.0%	0.0%		
	34	個人情報に十分注意している	100.0%	0.0%	0.0%		
	35	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100.0%	0.0%	0.0%		
	36	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0.0%	12.5%	87.5%		できていない。今後計画していきたい。
非常時等の対応	37	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	50.0%	37.5%	12.5%	保護者には入所時に簡易マニュアルを作成し、お渡ししている。	ミーティング時に、職員にもマニュアルを周知していく。
	38	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	75.0%	25.0%	0.0%		
	39	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	37.5%	37.5%	25.0%		研修は行ったが、シフトで参加できない職員もいるので、回数を増やし周知する。
	40	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等サービス計画に記載している	0.0%	100.0%	0.0%		
	41	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	25.0%	75.0%	0.0%		
	42	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	37.5%	62.5%	0.0%	ファイルで管理し、ミーティング時に共有している。	
	43	事前に服薬やてんかん、発作など子どもの状況を確認しているか	87.5%	12.5%	0.0%		